

八窓庵席

床 霞とりほゝに花差し寫の

こえやおさとに春のたつ国 玄々齋

香合 文趾大獅子写し 永樂保全造

香 黒方 鳩居堂

釜敷 若草 奥村吉兵衛

花入れ 花簞掛花入 銘・美の虫 玄々齋箱書き花押

釜 梅地紋平釜 京釜 時代

炉縁 木地 量が新しいので入らない場合花筏蒔絵八代宗哲使用します 時代

水指 高麗會寧水指 三つ耳 時代

薄器 菊桐蒔絵大棗 七代駒沢利齋 隠居名春齋

茶杓 利休堂 老梅にて 玄々齋

茶碗 黒 銘 玉造 一燈判あり 玄々齋箱書き

替 織部俵形 明治元年信貴山窯

替 軒ちかき松にきこえるつるのこの

ひとつくにちよせかぞえん 蓮月

建水 富久呂形 八代浄益造

蓋置 竹 とむ人もいやしき人も今の世は・・・文字在り

蓑盆 真塗手付煙草盆鯨手 玄々齋箱書花押在八代宗哲

煙草入 椰子 玄々齋花押 又妙齋箱書

火入 おらんだ 不明

煙管 玄々齋好み似 木村清五郎造

薄茶 銘 恭仁白 自然栽培茶 山徳製茶園

菓子 玄々齋好み 菱葩餅写し 本家菊屋